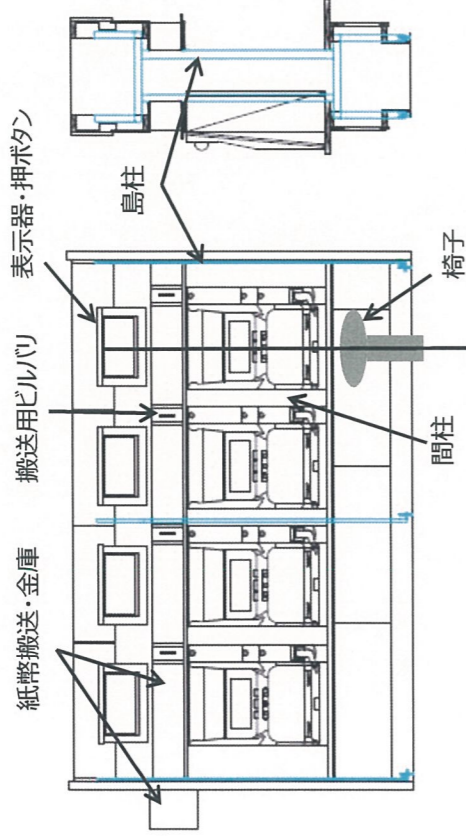


メダルレスユニットを左設置とした場合の台入替え検討

【既存スロット島参考図】



【既存島設備】

島設備	説明
紙幣搬送・金庫	ビルバリの位置に合わせて設置される。R島もあるため自由度は仕様による。
搬送用ビルバリ	紙幣搬送の仕様によって、島長方向への移送には制限がある。設置スペースは島側で作り込んでいる。
表示器・押ボタン	遊技台のセンターに合わせて設置される。許容される遊技台のすれ寸法については不明。
椅子	表示器・押ボタンと同様。
島柱	島構造の強度を保つための柱で、形状や寸法は様々である。表面上は見えないが、前面に遊技台とサンドを設置することができない。台480mm+サンド100mm=580mmのスペース以外には干渉の可能性がある。
間柱	遊技台の台間に設置され、ポップ入れやUSB充電機などの機器もある。機器が付属したタイプである場合、移送の制限がある。

【入替え参考図】	【入替え作業内容】	【問題点】
<p>①ビルバリはそのままユニットのみ左設置</p>	<ul style="list-style-type: none"> 表示器・押ボタンの移設 (100mm右へ移動) 椅子の移設 (100mm右へ移動) 取付穴を隠すための島補修 (必要性は店舗判断) <p>⇒通常の台入替えに対して数倍の作業ボリュームとなる</p>	<ul style="list-style-type: none"> 紙幣投入は右、ユニット操作は左となるのでわかりづらくなる 表示器や椅子をそのままにする場合も考えられるが検証が必要 移動量を最小限にする場合は間柱の追加が必要
<p>②左隣のビルバリを使用し、島端の1つを移設</p>	<ul style="list-style-type: none"> 既存島柱の切断および補強柱の設置 ビルバリ1台の移設 (島端から反対の島端へ移動) 島のビルバリ設置スペース新規追加 間柱の新規設置および移動 表示器・押ボタンの移設 椅子の移設 取付穴を隠すための島補修 (必要性は店舗判断) <p>⇒閉店後から翌朝の開店前までかかる作業となる</p>	<ul style="list-style-type: none"> 島の仕様に依存するため、設置した島業者しか作業ができない 島業者であっても事前に下見が必要 島柱の切断が必要になる可能性が高い 紙幣搬送の仕様によって移設不可の場合、1台のみストックとなる 既存の台間寸法によっては1台減台が必要になる
<p>③左設置に合わせて全てを移設</p>	<ul style="list-style-type: none"> 紙幣搬送の再設置 (場合によっては部品変更) ビルバリ全台的再設置 島のビルバリ設置スペースを全交換 間柱の全交換 表示器・押ボタンの移設 椅子の移設 取付穴を隠すための島補修 (必要性は店舗判断) <p>⇒閉店後から翌朝までに作業完了は不可能</p>	<ul style="list-style-type: none"> 島の仕様に依存するため、設置した島業者しか作業ができない 島業者であっても事前に下見が必要 割付パターンによっては島柱の切断が必要 紙幣搬送も含めてほぼ島の作り直しとなる

【検討における前提条件】

・現行スロット遊技機からメダルレス遊技機への入替えは島の片面単位で全ての台を入替える前提とする。
⇒例として、片面20台島において5台のみメダルレス遊技機へ入替えを行った場合、横並びでユニットの左右が混在することになり混乱が生じる可能性があるため。

・紙幣搬送が設置されている島を前提とする。

⇒入替えにおける一番影響範囲の大きい条件が紙幣搬送が設置されている島となるため。

・現行スロット島および紙幣搬送については、大都販売側の仕様を参考として検討する。

⇒各社様々な仕様があるが、基本的な構造上の制約はほぼ同じになると考える。

【その他懸念事項】

・台入替えは片面単位という前提条件にて検討したが、メダルレス遊技機導入初期に台数が揃っているのか、ホール側として受け入れられるのか。

・現行遊技機と次世代遊技機の混在期間において、台入替えだけではなく台移動に対しても制約を受けることになる。

・ユニットの共通化という原則は、紙幣搬送タイプとストックタイプの違いをどちらに捉えるか。紙幣搬送の制約がある場合、ストックタイプで回避することも可能であるが共通ということになるのか。